

六会地区 防災リーダーニュース

発行 六会地区防災リーダー連絡会
事務局 六会市民センター 地域づくり担当
TEL 81-6677 FAX 83-2298
編集担当自治会
富士見台、六会マンション、
トカンマンション藤沢六会、石川下町、近藤山

ファーストミッションボックス研修会が開催されました

6月27日(日)に、危機管理教育研究所の国崎氏を講師に迎え、六会市民センターにて研修会が開催されました。約53人の参加者が講演会に参加し、その後にグループに分かれて実際に模擬訓練を体験し、さらには地域防災に関する課題や情報の共有、ディスカッションを通じて防災意識を高めることができました。

ファーストミッションボックス(FMB)とは、「指示書と最低限必要となる事務用品を一つの箱に納めたもの」で、混乱しがちな初動の指揮者不在の避難所においても、最初に到着した人、人達が箱に入っている指示書に従って行動することで、訓練された人でなくても、迅速に避難所を開設することができる仕組みです。

所定の場所に置いたボックスを駆けつけた人が開け、そこに ある指示書に従って行動します。指示書は、誰であっても実行できる簡単な作業であり、何をすれば いいのか、一目で理解できるように記載されています。



写真1：FMB 講演会の様子



ファーストミッション
ボックスイメージ

写真2: ボックスのイメージ (碧南市ホームページ参照)

https://www.city.hekinan.lg.jp/soshiki/shiminkyoudou/bosai/1_2/17544.html



写真3：指示書の例



写真4：模擬訓練の様子

二つのグループに分かれて、参加者全員で模擬訓練に参加しました。1人の本部長から、近くの人を次々と任命し、本部班、安全班、住居班、トイレ班、そして昨今重要な検温消毒班の五つのグループを作り、最終的に最小17人で仮の避難所運用が開始されます。

実際には行いませんでした。が、情報の共有、周知方法など、いかに避難者に適切に情報伝達するかなどソフト面でも対策が必要なことを学びました。

参加者の声

・研修会は、模擬のファーストミッションボックスを使い実際の手順を踏んで行われました。手順は詳細に書かれていて、何を行うかが明確、役割分担が考慮されていて少人数に負荷が集中しないというものでした。実際の避難所の実態に合わせて記述する箇所があることを除けば、書かれた手順に正しく従えば、実際に避難所が開設できるという手ごたえを感じました。

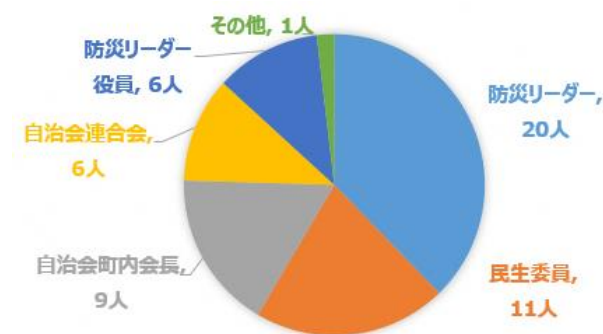


図1：参加者内訳（合計53人参加されました）。

アンケート結果（抜粋）

(研修への参加に対して)・概要がわかり良かった。・災害発生時の実践的な研修の場でした。・地域住民が自ら行動を起こすことを学びました。・指導活動の重要性を認識した。

（今後の防災取り組みに対して）・防災組織体制の確立の重要性を感じた。・研修だけではなく訓練の重要性を感じた。・FMB の意図は理解したが準備、訓練、周知が必要と思いました。・学校や会社などでも研修会をやった方がよい。

（現状の地域活動の課題に対して）・会長等役員任期により浸透が難しい。・普段からの情報共有が難しい。・役員以外にも研修会に参加を促したい。・防災意識の高揚。・避難行動要支援者に対する対応訓練も重要だと思っている。

FMB 研修会を通じて、概要と重要性を理解できた一方、実際に運用するには準備・周知・訓練、そして普段からの近隣、地域コミュニケーションなど重要性を今一度認識することができました。防災リーダー連絡会では引き続きこれらの研修会や活動を通じて、地域防災意識の向上に取り組んでいきたいと思っています。